

令和6年度 第42回入学式式辞

校庭の木々の緑が鮮やかさを増し、爽やかな風に春を感じられる今日の佳き日に、保護者の皆様のご出席を賜り、ここに大阪府立大塚高等学校第42回入学式を挙行できますことを心から感謝申し上げます。

P T A会長 小森みずほ様、育成会会長 伊澤まゆみ様には、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今、入学を許可しました212名の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

これから皆さんは本校の教職員や上級生とともに高校生活を過ごすことになります。今はまだ中学校を卒業したばかりで高校生と言う意識は薄いと思いますが、早く本校の生活に慣れ、高校生として成長してくれることを期待しています。

本校は、昭和58年に地元の強い要望と熱い期待を担って創立されました。創立から10年後の、平成4年に体育コースが体育科になり、現在の2つの学科が整いました。そして、一昨年、創立40周年という記念すべき年を迎えました。さらに今年度は美原高等学校との機能統合により、本校にとって新たなスタートの年になります。

今後10年間にわたって掲げる本校のスクールミッションは「校訓『創造』のもと、普通科と体育科を併置する学校の特色を活かし、知・得・体の調和のとれた人間性豊かで心身ともにたくましい、自ら未来をひらく人物、自ら探究的に学ぶ人物、日本のスポーツ振興及び地域社会に貢献できる人物を育成する」ことです。

これまでも陸上部や男子バレーボール部をはじめ、多くの運動部が近畿大会や全国大会への出場を果たしています。昨年度は陸上競技部とソフトテニス部が全国インターハイ出場に出場しました。また、卒業生には2020東京オリンピックに出場した選手や現在、プロ野球やVリーグ等で活躍している選手もいます。このように、本校はまさしく公立高校のスポーツの拠点校としてゆるぎない実績を築いてきました。進学実績においても、この春卒業した39期生は筑波大学や関西大学、近畿大学をはじめ、多くの大学や専門学校へ進学し、文武両道を実践する学校として発展し続けています。

40周年を迎えた一昨年度、新たに、「大塚 Dream 勇気！元気！本気！」のスローガンを掲げました。

大塚高校で過ごす3年間で、学業はもちろんのこと、学校行事や部活動に、勇気をもって、元気よく、そして、本気で取り組んで夢を叶えよう！という意味です。

皆さんが本校を志願した理由を思い出してください。

夢や希望、目標をもって本校を選んだと思います。それを実現するためには受け身ではいけません。学校が何とかしてくれる、先生や保護者がしてくれるといった気持ちでは、夢や希望、目標は実現しません。

自分自身が、そのことに向き合って、本気で努力することで初めて実現する可能性が見えてくるのです。

医師であり、作家でもあった齊藤茂太は、次のように言っています。

「人生に失敗がないと、人生を失敗する。」

人間は弱いもので、困難に遭遇するとそれに正面から挑戦することなく、すぐに言い訳を考え、逃げ出そうとします。失敗するのが怖いからです。しかし、それでは決して成功できません。どのような厳しい状況にあっても、それを正面から受け止め、真摯に向き合い、誰にも負けない努力を続けることが成功するためには必要です。

新入生の皆さん、「夢」を叶え、人生を豊かにするために、そして、若い今だからこそ、楽な道を選ばず、自分にとって辛くて、しんどい道を選び、新しいことに挑戦してください。そして、うまくいなくても、さらに学び、自分を信じて、挑戦し続けてください。期待しています。

皆さんが、大塚高校で過ごす3年間をどのように過ごしていくのか、また、3年後に本校を卒業してどのような旅立ちをしていくのか、私たち教職員はしっかり見守り、サポートしていきます。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点で、共に同じ方向に進む車の両輪です。本校に入学した212名の生徒が人生の最も大切な時期を過ごす高校生活に、是非とも手助けとなるお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、今日から始まる皆さんの高校生活が、素晴らしいものになりますことを祈念して、式辞といたします。

令和6年4月8日

大阪府立大塚高等学校長 武田 温代